

徳大病院ニュース

徳島大学病院の最新情報をお届けします

「徳島大学病院フォーラム2009」のご報告



- スギ花粉症が増加した理由
- ・花粉の増加、アスファルト
- ・大気汚染、ディーゼルの排気ガス
- ・細胞感染や寄生虫感染の減少
- ・ストレス、高蛋白食

2月14日(土)、本院は、NPO法人徳島医学研究・教育支援機構、徳島新聞社との共催により徳島県立郷土文化会館において「徳島大学病院フォーラム2009」を開催しました。

「～アレルギーでお悩みのあなたに～」をテーマとする市民公開講座を開催し、会場には、約400名の市民が参加されました。まず、香川病院長から挨拶が行われた後に、「花粉症について」を武田憲昭耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授、「アレルギー性結膜炎について」を江川麻理子眼科病棟医長、「成人ぜんそくについて」を吾妻雅彦呼吸器・膠原病内科講師、「アトピー性皮膚炎について」を久保宣明皮膚科准教授、「金属アレルギーについて」を細木真紀高次歯科診療部歯科用金属アレルギー部門長が講演を行い、興味深い話に参加者は耳を傾けていました。

臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか？ 問い合わせ先／臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

【現在、治験への参加をお願いしている病気】

- | | | | | |
|------------|------------|-------------|---------|--------|
| ●脳梗塞 | ●多発性硬化症 | ●深在性真菌症(小児) | ●関節リウマチ | ●日光角化症 |
| ●アルツハイマー病 | ●強迫性障害(小児) | ●肝細胞癌 | ●統合失調症 | |
| ●筋収縮性側索硬化症 | ●うつ病(小児) | ●再発・進行乳癌 | ●歯周病 | |

また、内臓肥満やメタボリックシンドロームのような方を対象に、食品に関する臨床試験も行っております。薬による治療が優先されると考えられる場合、基準に当てはまらない場合など、ご参加頂けない場合もありますが、どうぞお気軽にお問い合わせください。

TOKUDAI NEWS

ワーク・ライフバランスの実現をめざして



看護部では、やりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら個々人が持っている能力を最大限発揮して、イキイキと生活することをめざして、働く看護師自らとその家族の意識やスタイルを変えていく環境を整える必要があると考えています。ワーク・ライフバランスの理念を基盤に「働き続けたい病院・もう一度働きたい病院」の実現に向け取り組みを行っています。看護職員の意識改革とワーク・ライフバランスの啓発のために研修会の開催とポスター・リーフレットの作成を行いました。生活スタイルに合わせ、部分育児休業や2交代制など多様な勤務形態の導入もすすめています。また、悩みや相談のために気軽に訪問できる場として「WLB支援センター」室を開設しました。今後は、全ての職員のワーク・ライフバランスをめざして活動を拡大していきたいと考えています。

外来に治療説明室を開室



昨年11月17日より外来総合案内横に看護師1名を配置した診療説明室を開室いたしました。特定機能病院である当院では外来においても高度な検査や治療を提供しておりますが、その内容を患者さんに説明して十分に理解していただくことが重要です。限られた外来診察時間でそれが可能となるように、診療科から依頼を受けた診療説明室看護師が、診察を終えた患者さんに検査や治療等の項目の確認や具体的な手順について補足説明しております。現在、外科の患者さんに行っておりますが、今後は各科の患者さんに検査や治療を順調に受けていただけるよう役割を拡大していきたいと考えております。

禁煙川柳のサインについて



昨夏、ホームページ等を通して「病院敷地内禁煙に対する意識の向上」を呼びかけるサインに使用する「川柳」を広く募集させていただき、500句を大幅に上回るたくさんのご応募をいただきました。その応募作品の中から優秀作3句、佳作18句を選ばせていただいたとき、それらの作品を卓上型及び壁貼り型のサインに使わせていただいております。卓上型については、自動販売機コーナーにあるテーブル、壁貼り型についてはトイレにそれぞれ設置しております。また、これらのサインを目についた患者さんから「共感を得ました」との投書をいただいております。